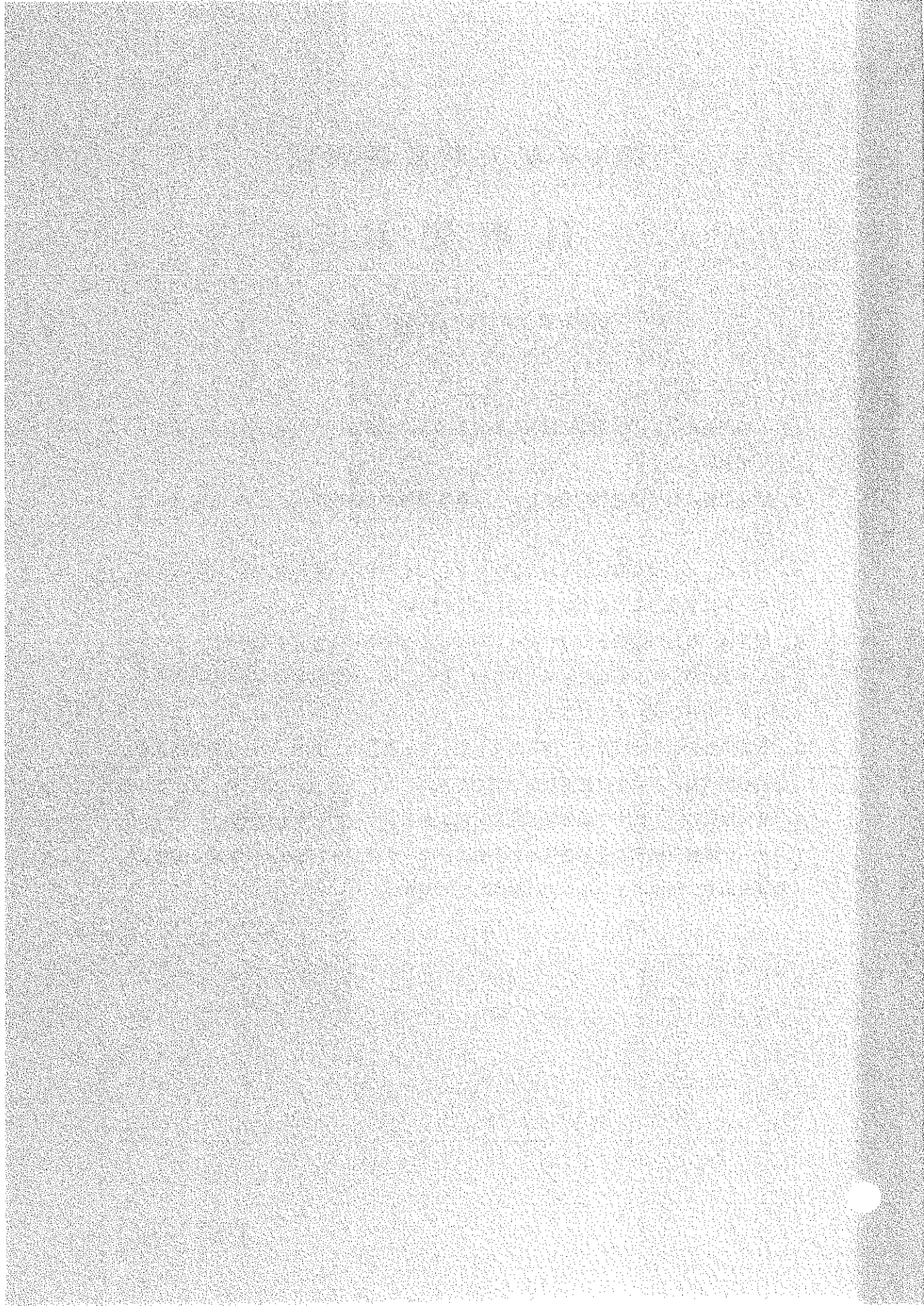


2018 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きには使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 『漢書』地理志の記載では、日本列島は百余国に分かれ、朝鮮半島の帯方郡^aに使者を送っていた様子が描かれている。『後漢書』東夷伝によれば、倭の奴国^bが後漢に使者を送り、光武帝^cより印綬を賜ったという。『三国志』の「魏志」倭人伝には、邪馬台国の卑弥呼が倭の諸国に共立されたことや、邪馬台国では大人^dと下戸などの身分差があったこと、市が開かれていたことなどの記録が残されている。5世紀になると倭の五王が中国の南朝^eへ朝貢したことが知られており、たとえば『宋書』倭国伝には雄略天皇にあたる倭王が宋に使者を派遣したこと^①などが記されている。このように当時の日本列島の様子は中国の歴史書によって知ることができる。

中国や朝鮮半島との関係はその後も続き、より進んだ鉄器・須恵器などの生産技術、漢字・儒教・仏教・暦などの文化が伝えられた。外交面では、607年に小野妹子^②が使者として隋にわたり、遣隋使による交渉が行われ、隋が滅んで唐が興ると遣唐使を派遣し、留学生を送るなどして中国の制度・思想・文化を吸収した。留学生の中には、唐にとどまり玄宗皇帝に重用された のような者もいた。新羅が朝鮮半島を統一すると新羅との使節の往来があり、また727年に使節が来日した とは、新羅との対抗関係から友好的に通交するようになった。遣唐使は894年に停止され、その後中国との正式な国交は開かれなかったが、商人の往来が絶えることはなく、宋との貿易によって文物が国内にもたらされた。

問1 波線部 a～e について、これらの中に誤りの箇所が一つある。次のア～オの中から正しく訂正しているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 誤りは a で、正しくは楽浪郡。
- イ. 誤りは b で、正しくは伊都国。
- ウ. 誤りは c で、正しくは煬帝。
- エ. 誤りは d で、正しくは上戸。
- オ. 誤りは e で、正しくは北朝。

問2 下線部①の内容を示す史料(抜粋)を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 大業三年、其の王多利思比孤、使を遣して朝貢す。(中略)其の国書に曰く「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云云」と。
- イ. 景初二年六月、倭の女王、大夫難升米等を遣し郡に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。(中略)その年十二月、詔書して倭の女王に報じて曰く、「(中略)今汝を以て親魏倭王と為し、金印紫綬を假し(中略)」と。
- ウ. 安帝の永初元年、倭の国王帥(師)升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。桓霊の間、倭国大いに乱れ、更相攻伐して歴年主なし。
- エ. 興死して弟武立つ。(中略)順帝の昇明二年、使を遣して上表して曰く、「封国は偏遠にして、藩を外に作す。(中略)東は毛人を征すること五十五国、西は衆夷を服すること六十六国、渡りて海北を平ぐること九十五国(中略)」と。
- オ. 讚死して弟珍立つ。使を遣して貢獻し、自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・秦韓・慕韓六国諸軍事安東大將軍倭国王と称し、表して除正せられんことを求む。詔して安東將軍倭国王に除す。

問3 下線部②について、暦法を伝えた百濟の僧侶の名を記しなさい。

問4 空欄Aに入る人物の姓名を記しなさい。

問5 空欄Bに入る国名を記しなさい。

問6 古代における日本と中国の交流に関する次のア～オの説明文を古いものから年代順に並べたとき、4番目に位置するものを選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 度重なる渡航に失敗しながらも来日した鑑真は唐招提寺を開いた。
- イ. 中国で天台教学・密教を学んだ円仁は『入唐求法巡礼行記』を著した。
- ウ. 中国から答礼使として裴世清が来日した。
- エ. 学問僧として中国に留学した旻は帰国後に国博士となった。
- オ. 中国で天台の教えを学んだ最澄は帰国して天台宗を開いた。

2 10世紀前半、承平・天慶の乱と呼ばれる戦乱が東西で勃発した。東で起こったのは平将門の乱で、一族の争いが国家的反乱に発展し、関東地方の大半を占拠した将門は と自称して支配を進めようとしたが、同じ東国の武士である藤原秀郷や平貞盛らによって討たれた。将門は^③国司と在地勢力との対立において在地勢力に頼られたことから、国府を襲撃するなどの行動に出た側面がある。西では瀬戸内海の海賊を率いた藤原純友が朝廷に反旗を翻し、伊予国府や大宰府などを攻めたが、源経基や小野好古らによって鎮圧された。

11世紀に地方の武士団が成長してくると、中央貴族の血を引く清和源氏や桓武平氏を棟梁として仰ぐようになった。このうち清和源氏は、平忠常の乱を平定した頼信が関東地方に進出し、前九年・後三年合戦で安倍氏・清原氏に勝利した頼義・義家らが関東武士団との関係を深めた。これに対し桓武平氏は、源頼政を討った正盛や瀬戸内海の海賊を平定した忠盛が、西国の武士団に影響力を持つようになった。一方で、地方に有力な在地勢力が現れ、地域の武士団の中心的存在となった。後三年合戦後に平泉を本拠とした奥州藤原氏はその代表例である。

武士の力はやがて政局を動かすほどとなり、都で勃発した保元・平治の乱を経て、平氏が中央政界で権勢を誇るようになった。^④後白河法皇の近臣らが平氏打倒を企てて失敗する と呼ばれる事件の後、平清盛は武力で権力を独占するに至った。だが、各地で反平氏の挙兵が相次ぎ、治承・寿永の内乱で平氏は滅亡し、源頼朝が鎌倉幕府を樹立することになる。^⑥

問7 空欄Cに入る名称を記しなさい。

問8 下線部③について、任国に赴任した国司（受領）が厳しい政治を行ったため、在地の人々に暴政を訴えられることがあった。このうち藤原元命が訴えられたことで有名な史料の名称を記しなさい。

問9 波線部 f～j について、これらの中に誤りの箇所が一つある。次のア～オの中から正しく訂正しているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 誤りは f で、正しくは頼家。
- イ. 誤りは g で、正しくは中原氏。
- ウ. 誤りは h で、正しくは源義親。
- エ. 誤りは i で、正しくは刀伊の入寇。
- オ. 誤りは j で、正しくは多賀城。

問10 下線部④について、二つの戦乱で起こった出来事として当てはまらないものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 崇徳上皇と後白河天皇、藤原忠通と藤原頼長がそれぞれ争った。
- イ. 後白河法皇と対立した平清盛は後白河を幽閉した。
- ウ. 源義朝と源為義、平清盛と平忠正という一族同士の戦いがあった。
- エ. 藤原通憲（信西）を討つため、源義朝と組んだ藤原信頼が挙兵した。
- オ. 平清盛が源義朝に勝利し、源頼朝が伊豆に流された。

問11 下線部⑤の内容を示す史料(抜粋)を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 日本准三后某、書を大明皇帝陛下に上る。(中略)好を通じて方物を献ず。金千両・馬十匹・薄様千帖・扇百本・屏風三双・鎧一領・筒丸一領・劍十腰・刀一柄・硯箱一合・同文台一箇。

イ. 保元・平治・治承より以来、武家の沙汰として政務を恣にせしかども、元弘三年の今は天下一統に成しこそめづらしけれ。(中略)今の例は昔の新儀也。朕が新儀は未来の先例たるべしとて、新なる勅裁漸々きこえけり。

ウ. 六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、花族も榮耀も面をむかへ肩をならぶる人なし。されば入道相國のこじうと平大納言時忠卿ののたまひけるは「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」とぞのたまひける。

エ. 禅定法王は、(中略)後三条院崩後、天下の政をとること五十七年(在位十四年、位を避るの後四十三年)、意に任せ、法に拘らず、除目・叙位を行ひ給ふ。古今未だあらず。(中略)威四海に満ち天下帰服す。

オ. 今日、女御藤原威子を以て皇后に立つるの日なり(前太政大臣の第三の娘なり。一家三后を立つること、未だ曾て有らず)。(中略)「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたることも無しと思へば」。

問12 空欄Dに入る事件名を記しなさい。

問13 下線部⑥について、1183年に源頼朝が東海・東山両道(東国)の支配権の承認を得た宣旨の名称を記しなさい。

Ⅱ 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 中世は仏教の時代と言われている。鎌倉時代の仏教といえば、一般に新仏教が思い浮かぶが、実のところ、朝廷と結びついて大きな勢力を奮っていたのは、延暦寺や興福寺をはじめ、東大寺、東寺など、古代に創建された旧仏教系の大寺院であった。これらの大寺院やその僧侶たちは、鎮護国家や五穀豊穡の祈禱を行うなど、国家の平和と繁栄を祈る見返りとして、朝廷によって公認され、手厚い保護を受けていた。そして、荘園内の末寺や鎮守の神社などで行われた、神仏に対する豊作祈願の儀礼などを^①通して、旧仏教は民衆にも大きな影響力を持つようになっていった。

こうした中、旧仏教を中心とする体制の枠内で仏教のあり方を革新しようとする運動がおきてくる。それは を重視することによって仏教の刷新を目指すもので、法相宗の解脱や華嚴宗の 、さらには、真言律宗の叡尊および弟子の らに代表される。叡尊や は非人と呼ばれる被差別民らの救済に努めるとともに、朝廷や鎌倉幕府と結びついて寺院の復興、橋・港をはじめとする交通路の整備などの公共事業に活躍した。

一方、いわゆる新仏教の開祖たちは、仏教の根本的な改革を目指し、新しい仏教のあり方を模索した。^②これらの新仏教のうちのいくつかは、救われる道は一つだけしかないと言き、旧仏教やそれを保護する朝廷・幕府などを批判したため、厳しく弾圧された。

問1 下線部①について、一般に中世には仏と神は同じものであるとする考え方が幅広く受け入れられていたが、そのような古代以来の考え方にもとづき、神社の境内に建立された寺院は何と呼ばれているか。その名称を記しなさい。

問2 空欄Aに入る語句を次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 題目 イ. 念仏 ウ. 加持祈禱 エ. 戒律

オ. 只管打坐

問3 空欄Bに入る人物の名を記しなさい。

問4 空欄Cに入る人物の名と、彼が奈良に創設したハンセン病患者の救済施設
の名称の組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、そ
の記号をマークしなさい。

- ア. 思円—施薬院 イ. 俊苧—綜芸種智院
ウ. 重源—典薬寮 エ. 忍性—北山十八間戸
オ. 良観—悲田院

問5 下線部②について、いわゆる新仏教の宗派名、開祖名、主要著書名、中心
寺院名の組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、そ
の記号をマークしなさい。

- ア. 浄土宗—法然—興禅護国論—知恩院
イ. 浄土真宗—親鸞—教行信証—清浄光寺
ウ. 曹洞宗—道元—正法眼藏—永平寺
エ. 日蓮宗—日蓮—立正安国論—清浄光寺
オ. 曹洞宗—栄西—正法眼藏—久遠寺

問6 下線部②について、時宗の開祖が各地を遍歴し、念仏札を配りながら行っ
た布教方法は何と呼ばれているか。その名称を記しなさい。

2 15世紀の後半以降、約1世紀にわたり続いた戦国の争乱は、一般に応仁の乱を
もってその始まりとみなすことが多いが、実のところ東国ではそれより以前から争
乱状態に入っていた。その発端は、1438年に6代將軍足利義教が、幕府に反抗的
な鎌倉公方足利持氏を攻め滅ぼした永享の乱^③である。この乱の翌年には結城合戦が
起こり、 上杉憲実の手によって持氏の遺児2人が殺害されたが、その後、
もう1人の遺児であった足利成氏が鎌倉公方に就任し、鎌倉府が再建された。

しかし、成氏は 上杉憲忠と対立し、1454年、憲忠を謀殺した。これ
以降、成氏およびその子孫と、上杉氏との間で20年以上にもわたって争いが続い
たが、この戦乱を と呼ぶ。戦乱の初期の段階に、成氏は鎌倉から下総に
移り住み、 と称されるようになったが、一方、室町幕府は1458年に足
利義政の弟政知を新たな鎌倉公方として東国に派遣し、成氏に対抗させた。だが、
政知は鎌倉に入ることができず、伊豆の堀越に留まらざるを得なかったため、堀越

公方と呼ばれた。

さらに、公方権力の分裂のみならず、 上杉氏も、山内・扇谷の2家に分かれて争うなど、東国は他の地域よりも早い段階から戦国時代に突入した。こうした中、堀越公方家では足利政知の死去後、茶々丸が家督を継いだ。1493年に茶々丸は伊豆に進行してきた に敗れ、堀越公方は滅亡した。

その後、 および彼の跡を継いだ者たちは、相模を拠点に関東地方にも進出し、^④他の戦国大名や と争いつつ、勢力範囲を拡大していった。

問7 下線部③について、専制政治への反発から義教は家臣によって暗殺されてしまうが、この事件の発生年代、名称、暗殺を企てた守護大名の姓名の組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 1440年—寧波の乱—大内義隆

イ. 1441年—嘉吉の変—赤松満祐

ウ. 1443年—三浦の乱—山名氏清

エ. 1445年—応永の乱—大内義弘

オ. 1446年—元弘の変—今川了俊

問8 空欄Dは、鎌倉公方を補佐する役職である。この役職の名称を記しなさい。

問9 空欄Eに入る乱の名称を記しなさい。

問10 空欄Fに入る役職の名称を記しなさい。

問11 空欄Gに入る人物の姓名を記しなさい。

問12 下線部④に関連して、Gとその後継者をはじめ、戦国大名たちの中には年貢・公事などを銭に換算して表示した上で、それを家臣の軍役負担の基準とした大名がいた。この制度の名称を記しなさい。

Ⅲ 次の1から3の史料および文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(26点)

1 史料a～d(史料は、読みやすさを考えて、一部改変した)

a 一、諸国百姓、刀、脇指、弓、やり、てつほう、其外武具のたぐひ所持候事、堅く御停止候、其子細は、入らざる道具をあひたくはへ、年貢・所当を難洪せしめ、自然(注1)、一揆を企て、給人(注2)にたいし非儀のはたらきをなすやから、勿論御成敗あるべし、

(注1)もしも。(注2)大名の家臣。

b 此節ハ米価いよいよ高直(注3)に相成、大坂の奉行ならびに諸役人共万物一体の仁を忘れ得手勝手の政道を致し(注4)、江戸へハ廻米(注5)の世話致し、天子御在所の京都へハ廻米の世話を致さざるのみならず、五升・一升位の米を買い下り候者共を召捕など致し、…此度有志の者と申合せ、下民を悩まし苦しめ候諸役人共を誅戮(注6)致し、引続き奢に長じおり候大坂市中金持の町人共を誅戮致すべく候間、…

(注3)高値。

(注4)仁愛の心を持たず、自分勝手な政治をおこなうこと。

(注5)米の廻送。(注6)罪をただして殺すこと。

c の儀に付、最前(注7)書付を以て仰せ出され候處、今度武州(注8)寺尾村、同国代場村の者、病馬之を捨て、不届の至に候、死罪にも仰せ付けらるべく候え共、此度ハ先命御たすけ、流罪仰せ付けられ候、

(注7)少し前。(注8)武蔵国。

d 神奈川御開港、外国貿易仰せ出され候二付、諸商人共一己の利得ニ泥み(注9)、…直ニ御開港場所江相廻し候二付、御府内入津(注10)の荷物相減じ、諸色払底(注11)ニ相成り、難儀致し候趣相聞候二付、当分の内左の通り仰せ出され候、

— 雑穀 — — —
—

右の品々ニ限り、貿易荷物の分者、都而御府内より相廻し候筈ニ候間、在々より決而神奈川表江積出し申す間敷候、

(注9) 自分だけの利益にこだわって。 (注10) 江戸へ入荷する。

(注11) 諸商品が品切になること。

問1 上の史料a～dが出された時期を古い順に並べ替えたものとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. a→b→c→d イ. a→b→d→c ウ. b→a→c→d
エ. b→a→d→c オ. a→c→b→d

問2 史料aを出した人物が、1585年に朝廷から与えられた官職の名称を記しなさい。

問3 史料bを書いた陽明学者の姓名を記しなさい。

問4 史料cの空欄Aに入る政策を進めた將軍の政治として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 武家諸法度の発布にあわせて、殉死の禁止を命じた。
イ. 禁中並公家諸法度を制定した。
ウ. 湯島聖堂を建てた。
エ. 小石川養生所をつくった。
オ. 閑院宮家を創設した。

問5 史料dの空欄B～Eに入る4つの品物として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 水油 イ. 銅 ウ. 呉服 エ. 生糸 オ. 蠟

2 江戸は、将軍が住む江戸城を中心に、大名とその家臣団や旗本・御家人等が居住する武家地、50万人をこえる町人が居住する町人地、僧侶等が居住する寺社地からなる日本最大の城下町であった。そこでは大量の物資が日々消費されており、なかでも薪炭は人びとの暮らしにとって不可欠のエネルギー源であった。

江戸で消費される大量の薪炭は、主に関東およびその周辺地域から供給された。「川辺竹木炭薪問屋」と呼ばれる商人たちは、幕府に公役を負担し、その代償として薪炭商売の独占を認められていた。この問屋を通じて市場の統制を行うことで、幕府は薪炭の安定供給と価格維持に努めた。また、19世紀に入ると幕府は炭会所を設置し、その監督の下で江戸近国の御林で炭を焼かせ、江戸市場への安定供給を図った。文化年間には、八王子山間部の御林でも8万俵余の炭が焼かれ、会所に納められた。大量の炭が、多摩川を筏で、江戸湾を船で運ばれた。

問6 下線部①に関連して、大名・旗本・御家人に関する記述として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 大名・旗本・御家人は、幕府に対し石高に応じて年貢を負担した。
- イ. 大名には親藩・譜代・外様の区別があり、幕府の主要な役職をつとめたのは外様大名であった。
- ウ. 将軍直属の家臣で一万石未満の者のうち、将軍にお目見えを許された者を旗本、許されなかった者を御家人と呼んだ。
- エ. 徳川家康は1615年に武家諸法度を制定し、そこで大名に江戸と国元の間での参勤交代を義務付けた。
- オ. 寛政年間的前後に、財政危機の中、熊本藩では上杉治憲、米沢藩では細川重賢により藩政改革が進められた。

問7 下線部②に関連して、町人地の中の町に居住し、宅地の一部か全部を借りて自分で家を建てて住んだ者の名称を記しなさい。

問8 下線部③に関連して、このように同じ業種ごとに都市や農村の商人・職人がつくっていた組織で、幕府・諸藩から営業の独占権を与えられた団体の一般的な名称を記しなさい。

- 問9 下線部④に関連して、必要物資の安定供給を図り、物価を安定させることは幕府にとって重要なことであった。幕府の政策と物価に関する記述として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 萩原重秀の意見により將軍徳川綱吉が貨幣改鑄をおこなった結果、幕府の収入は増加したが、物価も騰貴した。
- イ. 新井白石は物価の騰貴をおさえるため、質の高い正徳小判を鑄造させた。
- ウ. 田沼意次は米価の引き下げに努め、大坂の堂島米市場の公認にふみきった。
- エ. 物価騰貴に苦しむ旗本・御家人を救済するため、幕府は天保の改革に際して棄捐令を出した。
- オ. 開港後、日本と外国の金銀比価の違いによる金貨の海外流出を防ぐため幕府が貨幣改鑄を行うと、物価が著しく上昇した。

3 1843（天保14）年、幕府は長岡藩から新潟町を した。その直接的な理由としては、新潟湊を舞台にした薩摩藩による抜荷の発覚があった。⑤ 薩摩藩は琉球経由で中国から入手した物品を新潟湊へ運び、新潟町の商人を通じて越後をはじめ信濃・関東地方へ売り捌いていた。幕府は新潟町を直轄支配とすることで、このような抜荷に対する監視を強化した。

ただし、その他にも重要な理由があった。その頃、日本海に外国船が頻繁に出没し、幕府はそれに対する防備を強化する必要に迫られていたのである。⑥ 初代の新潟奉行を務めた川村修就は、砲術訓練を実施したり、大砲を鑄造させ、台場を築かせたりするなど、海岸防備の充実に努めた。

その後、1858（安政5）年の日米修好通商条約⑦において新潟開港が定められたが、実際に開港したのは1868（明治元）年11月のことであった。

問10 空欄Fに入る語として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 上知 イ. 転封 ウ. 改易 エ. 検地 オ. 定免

問11 下線部⑤に関連して、薩摩藩（島津氏）に関する説明として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 文禄・慶長の役に際し、島津氏が連れ帰った朝鮮人陶工が技術を伝え、薩摩焼がはじめられた。

イ. 島津氏は琉球王国を征服したが、中国との朝貢貿易は継続させた。

ウ. 19世紀初めには下級武士出身の調所広郷が、黒砂糖の専売制を強化するなど藩財政の立て直しをおこなった。

エ. 1862年に島津久光は、公武合体を進めるため勅使を奉じて江戸に向かい、幕府に政治改革を要求した。

オ. 薩摩藩は、生麦事件への報復として鹿児島を砲撃したイギリス軍艦との戦いに勝利したことで、攘夷の姿勢をいっそう強めた。

問12 下線部⑥に関連して、同じ頃太平洋側では、1837年に日本人漂流民を乗せてきたアメリカ商船が浦賀沖に接近して撃退される事件が発生している。この商船の名前を記しなさい。

問13 下線部⑦について、日米修好通商条約の締結を強く要求した初代アメリカ駐日総領事の名前を記しなさい。

Ⅳ 次の1と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(24点)

1 明治初期、日本は欧米諸国に対抗するために、たちおくれた経済を発展させ、急速に近代産業を育成しなければならず、明治政府は富国強兵、文明開化とやらんで殖産興業政策を推進した。そこで、これまで雑多の金銀銅の硬貨、藩札・太政官札・民部省札などが大量に発行され、混乱をもたらしていた状況を整理し、金融・貨幣制度を確立する必要から、1871年政府は新貨条例を公布して新貨幣を造幣寮で^①鑄造し、全国一律の貨幣制度を定めた。また、1872年には太政官札などの旧紙幣と引き換えるために、新しい政府紙幣を発行した。その一方で、政府は近代的銀行制度を確立するため、同年国立銀行条例を公布した。そして民間の出資を仰ぎ、翌年東京に第一国立銀行、横浜に第二国立銀行などが創設されたのをはじめ、その後各地に多くの国立銀行が設立された。^②

1870年に設置された および、1873年に設置された が、殖産興業政策を推進する中心的機関となった。明治政府は旧幕府や旧諸藩が経営していた^③鉱山や工場を引き継いで官営事業とするとともに、欧米の機械・技術を導入し、外国人技師を招くなどして、富岡製糸場(1872年設立)・深川セメント製造所(1874年設立)・品川ガラス製造所(1876年設立)・千住製絨所(1879年設立)などの官営工場を新設した。^④

問1 下線部①について、説明文として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 金本位制の確立と幣制混乱の收拾が目的であった。
- イ. アジア諸国の実情は銀本位のため、貿易上の便宜から貿易銀(1円)も鑄造した。
- ウ. 政府の貨幣鑄造所は東京に設置され、イギリスのキンダーらの指導を受けた。
- エ. 十進法を採用し、円・銭・厘を単位に新硬貨をつくった。
- オ. 伊藤博文の建議により、1円金貨を原貨とする新硬貨を鑄造した。

問2 下線部②について、総監役、つづいて頭取として同行の発展に努め、のちに大阪紡績会社の創立を指導するなど実業界で活躍した人物を次のア～オの中から一人選び、その記号をマークしなさい。

ア. 五代友厚 イ. 渋沢栄一 ウ. 岩崎弥太郎 エ. 黒田清隆
オ. 安田善次郎

問3 空欄AおよびBに入る官庁名の組み合わせの正しいものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. A農商務省—B大蔵省 イ. A工部省—B内務省
ウ. A大蔵省—B内務省 エ. A刑部省—B民部省
オ. A工部省—B民部省

問4 下線部③について、明治政府が旧藩の経営から接收して官営事業としたものを次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 佐渡鉦山 イ. 生野鉦山 ウ. 東京砲兵工廠
エ. 長崎造船所 オ. 三池炭鉦

問5 下線部④について、生糸の品質を向上させ輸出を振興させるため、政府が雇い入れた技師を次のア～オの中から一人選び、その記号をマークしなさい。

ア. ブリューナ イ. ケンベル ウ. モース エ. モッセ
オ. グラバー

2 大正末期から昭和初期にかけての文学界では、社会主義運動や労働運動の高揚とともに、 文学が活発となった。『種蒔く人』（1921年創刊）や『戦旗』（1928年創刊）などの機関誌が創刊された。これらの雑誌には、 の『蟹工船』や徳永直の『太陽のない街』などの作品が掲載された。しかし、1930年代に入ると弾圧の強化や時代の風潮を反映して、しだいに衰えた。

一方、自然主義的リアリズムに反発し、感覚的な表現のなかに文学の実態を求めようとした 派のなかからは、横光利一や らがでて活躍した。横光利一は1930年に『機械』、1937年から46年にかけて『旅愁』を発表し、 は1935年から37年にかけて『雪国』を発表している。

問6 空欄Cに入るもっとも適切な語句を記しなさい。

問7 空欄Dに入る人物の姓名を記しなさい。

問8 空欄Eに入るもっとも適切な語句を記しなさい。

問9 空欄Fに入る人物の姓名を記しなさい。

3 GHQ（連合軍最高司令官総司令部）は財閥と 制とが軍国主義の基盤になっているとして、その解体をはかった。財閥の解体については、1945年11月、GHQが財閥の資産凍結を命じたことにはじまり、翌年8月に発足した持株会社整理委員会が、株式所有による財閥の傘下企業支配を一掃しようとした。さらに1947年4月にいわゆる 法が公布され、カルテル・トラストなどが禁止され、12月には過度経済力集中排除法が制定され大企業が分割されることになった。

制に対しては、二度にわたる農地改革が行われた。1945年11月、日本政府は自主的に農地調整法の改革案を決定したが、地主の貸付地所有限度を5町歩としたため、GHQは改革不徹底と指摘した。そのため、1946年10月、GHQの勧告案にもとづいて農地調整法の再改正と 法を公布し、不在地主の貸付農地全部、在村地主の1町歩（北海道は4町歩）を超える部分の強制買上げ・売渡しで解放し、1950年までにほぼ完了した。

問10 空欄Gに入るもっとも適切な語句を漢字4文字で記しなさい。

問11 空欄Hに入るもっとも適切な法律名を記しなさい。

問12 空欄Iに入るもっとも適切な法律名を記しなさい。



■

■

)